

愛護ニュース

年間購読料 1,320円 (税込)
(本会の会費には愛護ニュース購読料が含まれています。)

〒105-0013
東京都港区浜松町2-7-19
KDX浜松町ビル6F
<http://www.aigo.or.jp/>

公益財団法人
日本知的障害者福祉協会
発行人 樋口幸雄

「居住支援の在り方に関する提言」の提出について

令和7年3月25日(火)、本会では政策委員会においてとりまとめた「居住支援の在り方に関する提言」(令和7年3月13日理事会承認)を樋口会長より厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 野村知司部長に提出し、その後、意見交換を行いました。

本提言は、令和7年度より国において障害者支援施設等のあり方についての検討会が設けられ本格的な検討が始まることから、令和3年に本会政策委員会がまとめた居住支援等の在り方に関する内容のうち、特に障害者支援施設とグループホームについて、より具体的な提言を示すため、政策委員会においてさらに議論を重ね、とりまとめたものとなります。本提言の主な内容は次のとおりです。

前文要約

昨年、障害福祉サービス等報酬改定では、障害者権利条約対日審査総括所見への対応も含めた議論が行わ

れ、障害者支援施設からの地域移行の方向性がこれまで以上に強く示された。地域移行は本人の「誰とどこで住みたいか」という意思を実現するという「目的」を達成するための様々な「手段」の中の一つであり、施設か地域かといったような両者を相対する捉え方ではなく、あくまでも施設入所支援もグループホームも自宅等での生活も、暮らし方の選択肢の一つとして捉えるべきである。

そのためには意思決定支援の取り組みをさらに促進することに加え、施設入所支援およびグループホームが地域における暮らしのよりよい選択肢となるよう、障害福祉サービス事業者が自ら現状及び課題を整理し、受け止め、自らその解決に向けた提案を示すことが必要である。

障害者支援施設について

1. 第一種社会福祉事業としての障害者支援施設の在り方の明確化

5月号の主な記事

- ・物価高騰および福祉人材確保対策に関する要望…2
- ・令和6年度部会協議会・全国支援スタッフ委員会代表者会議報告…2
- ・令和6年度第2回評議員会(書面決議)報告…3
- ・お知らせ…4
- ・浜松町から…4

2. 住まいの場と日中活動の在り方

・昼夜の明確化(入所支援の敷地外での日中活動の場の設置の推進と意思決定支援に基づくサービスの選択の推進)

・施設入所支援が単独で成り立つ職員配置基準と報酬設定(実際の配置に見合った職員配置と報酬設定)

3. 個室化・生活単位の小規模化の推進とサテライト施設の創設等

グループホームについて

1. 類型・給付・職員配置の整理
・介護サービス包括型と日中サービス支援型の統合

・世話人の生活支援員への一本化
・重度者・高齢者への支援が可能となる職員配置基準や重度者・高齢者が利用するホームの整備費補助基準の増額等

2. グループホームの質の担保
・事業所指定の際の強化(代表者・

管理者の経験要件、サービス管理責任者の職務経験要件、協議会の見解の添付等)
・本人の意思に基づく日中の過ごし方を担保する仕組みの提案
・地域連携推進会議の在り方

なお、今後は次期報酬改定に向けて本提言の内容を実現するために、政策委員会において令和7年度にどのような提案を行っていくか等を引き続き検討していくこととされています。

※正式な提言と内容の詳細は、本会ホームページの会員ページにも掲載していますのでご確認ください
↓
<http://www.aigo.or.jp/member/pdf/06pdf/r70313teigen.pdf>



左から野村部長、榎本副会長、久木元委員長、樋口会長